



しのぶしょう つうしん 忍小★通信

がつこう
No.12(12月号)

しのぶがおかしょうがっこうちょう うえいだいすけ
忍ヶ丘小学校長 上井大介

★暇中校区の合言葉 3つの「るるる」

・ねばーる(自分と向き合う力) ・やってみーる(自分を高める力) ・つながーる(他者とつながる力)

★令和6年度【学校教育目標】

「みんなでつくる 楽しい 忍小」 ・挑戦しよう! ・つながろう! ・学び続けよう!

♪さあ、2学期のまとめの月です・・・12月♪

今年も残暑が厳しかった秋。その秋はすぐに過ぎ去り、一気に冬を思わせる寒い日が続いています。校庭の樹々も赤や黄色に色づいたとたんに、散ってしまっている様子。年々、心地よい季節である秋や春が短くなっていると感じます。先日、学校医さんが「近隣市ではインフルエンザやコロナも増えてきていますよ・・・」と教えてくださいました。学校でもうがい手洗いなどの声掛けをさらに進めますので、各ご家庭でもどうぞよろしくお願いいたします。

さあ、1年で一番長い2学期もいよいよまとめの月、12月が目前です。2学期を振り返り、残りの期間を大切に過ごしましょう。そして、皆さんが気持ちよく冬休みに入れることを願っています。一人ひとりのがんばりや課題は個人懇談会で担任から保護者の方にお伝えさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



◆忍小全員の平和への思いを胸に・・・6年生の修学旅行!!

11月8～9日の1泊2日で6年生が修学旅行に行きました。タイムラインで現地での様子はお伝えしていましたが、忍ヶ丘小 学校の代表として、みんなで折った折り鶴アートを広島平和記念公園内にある「原爆の子の像」に捧げ、セレモニーを行いました。周囲におられた海外からの観光客を含めて、セレモニーの様子を見ておられました。広島で自分の目で、平和の大切さ



や戦争の悲惨さを再認識してくれたことと思います。そして、世界平和と併せて、子どもたちに願うのは、まずは自分の身近な社会、隣の子、クラスや学年、学校の仲間のこと、そして、家族や地域の人たちのこと、最後は自分自身のことに目と目を向けて、自分やみんなを大切にしたい。自分の周りへのその小さな行動が今できることであり、やがて世界平和につながるものと信じています。

◆明日は土曜参観&ふれあいフェスタ！

あす がつ にち
明日 11月 30日
(土) 開催です。

ふえすた
フェスタについては、
PTA役員さんを中心
に〇×ゲームやバザー
を企画していただいた



り、おやじの会等団体の皆さんのご協力でお店も用意
してくださったりしています。また、ボランティアとして
活動いただいく保護者の皆さんもありがとうございます。
短い時間ですが、運動会同様に子どもも保護者もみんな
が笑顔になれる時間になればいいと思います。ご理解と
ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。時間な
ど詳しくは、すでに配布の土曜参観やふれあいフェスタの
ご案内のプリントでご確認ください。

※ 12月2日(月)は振替休日です。

◆登校班班長や副班長、高学年の皆さんありがとう！

校区が広いにも関わらず、子どもたちは毎朝班が大きく
くずれることなく安全に学校まで歩いています。まずは、
保護者の皆さんのお声掛けや引率に感謝申し上げます。ま
た、高学年の子どもたちがしっかりと低学年をサポート
してくれていることも大きな要因です。後ろを振り返った
り、やさしく声をかけたりする姿はほほえましいですし、
異学年との交流の場としての意義の大きさも感じます。
ありがとうね。低学年の皆さんは班長や高学年のいうこ
とをしっかりと聞きましょう。保護者の皆さんから高学年
へのねぎらいの声掛けもよろしくお願いいたします。

登校班のきまりやルールについては、班会議でも確認し

ます。また、坂が多く歩道
やガードレールのない道
もあります。道路の端を
歩くなど下校時も交通
安全ルールをしっかりと
守りましょう。



裏面にもあります。ご覧ください。

12月行事予定

※あくまでも予定です。今後、変更の可能性も
あります。その際は追って連絡します。
ご了承ください。

1	日	
2	月	土曜参観振替休日
3	火	3年生消防署見学
4	水	マラソン大会
5	木	人権集会、1年生秋見つけ(國中神社)
6	金	マラソン大会予備
7	土	
8	日	
9	月	1年生秋見つけ(國中神社) 予備
10	火	個人懇談① 班長会議 お話の会(低学年)
11	水	個人懇談②
12	木	個人懇談③、集会
13	金	個人懇談④
14	土	
15	日	
16	月	班会議
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	水曜タイム 給食終了、大掃除、5時間授業
21	土	
22	日	
23	月	終業式(3時間授業)
24	火	冬季休業開始(1月6日まで)
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	



★マチコミメールのお願い★

マチコミメールで様々な連絡をさせてい
ただいています。機種変更等により登録が
できていない方は、再度登録をお願いします。
また、届いたメールの内容は必ず確認して
ください。

★12月分の諸費振替日は、12月6日(金)です。事前に指定口座の残高確認をお願いします。

★体調不良で早退するお子さんが増えています。マイコブラスマ肺炎も少し出てきています。これからインフルエンザ
等の感染症も流行る時期ですので、ご家庭においても体調管理への一層のご配慮をお願いします。

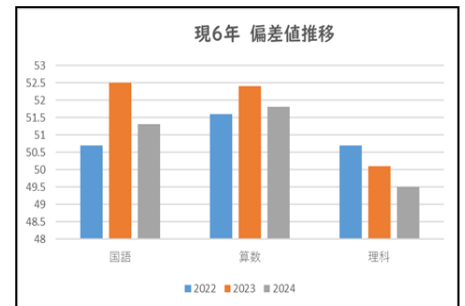
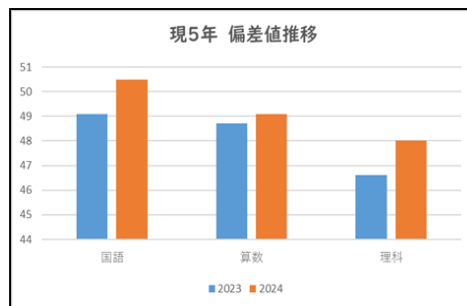
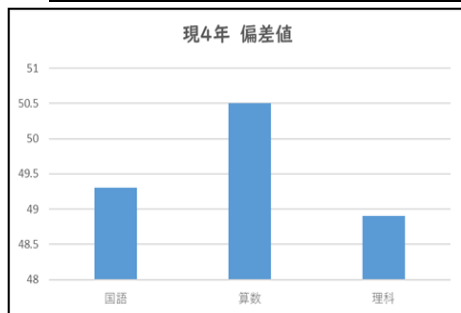
しのぶがおかしょうがっこう がくりよく
【忍ヶ丘小学校の学力について 令和6年度実施各テスト結果より】

こうがくねん じっし たいしょうがくねん ねんせい
高学年が実施しました3つのテストの結果が出ました。今回はその結果と本校教職員が分析した内容を紹介します。

1 NRT (全国標準学力検査) <市が実施>

- ① 実施日 令和6年4月26日(金)
② 対象学年 4, 5, 6年生 ③ 実施教科 国語、算数、理科
④ 結果 下表のとおり ※全国の学力偏差値を50として比較します。

	国語	算数	理科
全体	50.4	50.5	48.8



2 全国学力・学習状況調査 <国が実施>

- ① 実施日 令和6年4月18日(木)
② 対象学年 6年生
③ 実施教科 国語、算数、理科、児童質問紙
④ 結果 下表のとおり ※全国を1としたときの本校の正答率です。

	国語	算数	理科
本校	0.97	1.06	実施なし

<児童質問紙>

●肯定的回答の上位項目(全国と差異)

- ・「算数の授業の内容はよく分かる」(+8.2)
- ・「英語の勉強は好き」(+8.1)
- ・「算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」(+2.6)

●肯定的回答の下位5項目(全国との差異)

- ・「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分でまなび方を考え、工夫することはできていますか」(-13.1)



3 すくすくウオッチ <大阪府が実施>

- ① 実施日・対象学年 令和6年4月23日(火)他 5, 6年生
② 実施教科 (5年生) 国語、算数、理科、わくわく問題、児童アンケート
(6年生) 理科(今年度より実施)、わくわく問題、児童アンケート

※教科横断型の問題とは、文章や絵、図、表、グラフ、ホームページなどを読んで、自分の考えを書くなどの問題。

③ 結 果 下表のとおり

5年生	平均正答率 本 校	平均正答率 大阪府
国 語	73.9	73.4
算 数	38.6	36.7
理 科	61.6	61.6
わくわく	60.2	57.9

6年生	平均正答率 本 校	平均正答率 大阪府
理 科	71.4	63.7
わくわく	74.2	68.5



4 分 析 (◇/成果 ◆/課題) ※主に全国学力・学習状況調査より

◇国語・算数ともに通過率全国と比較してみても良い結果が見られた。「説明力」の向上に昨年度から取組みをはじめ、国語の記述式設問の正答率は65.0%と高く、全国と比較すると、+0.4%、大阪府との差は+2.7%と本校の取組みの効果がみられる。算数でも記述式は54.6%と全国との差は+3.6%、大阪府では+4.5%高い。教科横断的な学びが効果的だったといえる。



◇「無答率の低下」「記述への抵抗感が下がった」。これは、「説明力の向上」に向け、教科横断的な学びを通して取り組んできた効果といえる。

◇今年度の学力テストでは、記述力が特に伸びを感じるものとなった。記述する内容を教職員が明確にしたうえで、書いたり表現する活動を行ってきた。モデル文などの活用により記述する際にどのような内容をどんな順番で表現していくか児童自身が考える機会をもってきた。また、その教科だけによらず学んだことを他の教科や日頃の生活に活かす経験がより学びの定着や知識を活かす場面となったと考えられる。その点からも、「説明力向上」の取組みが、国語科にとどまらず、他教科にも汎用できるような力が少しずつ身につけていると考えられる。

◆「説明力向上」のための取組みの徹底（事実・理由・考え・方法）をしてきたが、簡単なことを書くことの方が苦手としている傾向が見えてきた。（事実）グラフの読み取りや、見たものから分かることをとらえる時間を増やす。

◆今後必要となる力としては、読んだ文章の意図や本質をとらえる力や基本的な知識の理解・定着をはかることである。また、課題設定を工夫することで子どもたちにとってリアルな課題とし、問いのもち方の工夫などを大切にしていきたい。今後は問いの質にも着目することで、学び方の質の向上をめざしたい。

◆タブレット等ICT機器の効果的な活用を深めることやAI型ドリルの研修から得たことを有効に活用していく。例えば、普段の宿題や長期休みでの出題などを実践していく。



これらの結果や分析を今後も本校全学年の教育活動に役立ててまいります。各ご家庭におかれましても、今後とも、本校取組みへのご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。